

施策番号 1-3-2	施策名 高齢者福祉の充実	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
		政策名	健やかな暮らしと自立を支える福祉の充実			
	主管課	保健福祉課	課長名	有澤 勝昭	内線	550
	施策関係課					

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう適切なサービスを提供します。また、要介護状態とならず元気で生き生きと過ごせるよう体制づくりを行います。		高齢者 (65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切なサービスを利用できるようにする</li> <li>高齢者が生きがいをもって元気に生活できるようにする</li> <li>介護保険の対象とならないよう予防する</li> </ul>				高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができる
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 芽室町の福祉サービスに満足している高齢者の割合	住民意識調査	%	57.0	59.8	62.7	60.0	
② やりがいのある趣味や運動、仕事に取り組んでいる高齢者の割合	住民意識調査	%	未調査	56.6	64.5	70.0	
③ 要介護認定率	保健福祉課調べ	%	18.7	18.9	19.5	20%以下	
成果指標設定の考え方	①前期の目標は69%であったが、国の制度改正の影響を受けることもあり、現実的な目標に再設定し60%以上を目指す。 ②新規設定。要介護認定率の抑制目標を踏まえ、活動的高齢者の増を成果指標に設定し、70%を目指す。 ③計画より低い値に設定。高齢者の増加はあるが、介護予防事業等の充実により20%以下の水準を維持する。						

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	1,737,711	1,795,892
人工数(業務量)	11.2012	10.3411

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②は上昇、③は目標値内であり成果は向上したと考える。→要因は、相談支援による介護予防・介護サービスのタイムリーな提供や地域包括ケアシステムの推進によるものと考えられる。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①の指標は、目標値に達しており、地域包括支援センターでの総合相談による介護予防・介護サービスのタイムリーな提供によるものと考えられる。 ②の指標は、目標値を若干下回っているが、地域包括ケアシステムの構築に向けた、「生活支援体制整備事業」、「高齢者支援活動推進事業」の実施、また既存事業のシニアワークセンター事業の推進により、概ね目標値に達していると考えられる。 ③の指標は、目標値を達成しており、介護予防教室や活躍の場の充実によるものと考えられる。 以上、3つの指標全体としては、目標を概ね達成できたと考えられる。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	地域包括支援センター運営事業 生活支援体制整備事業 高齢者支援活動推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「地域包括支援センター運営支援事業」→要支援認定者のケアプラン作成、総合相談業務、権利擁護事業、ケアマネジメントの強化支援を通じ福祉・介護サービスの適切な提供に努めると共に、ケアマネネットワーク会議やケアカフェを開催し町内関係職員間の情報交換を行い介護の質の向上を図った。 ・「生活支援体制整備事業」→医療、介護等の公的サービスだけでなく、ボランティア・民間企業・地縁組織等多様な主体が高齢者の生活支援サービスの担い手となる体制づくりと高齢者の社会参加を一体的に推進するするため、生活支援コーディネーターを配置し、住民による協議体を設置した。 ・「高齢者支援活動推進事業」→町民が自発的な活動として行う高齢者への生活支援活動、介護予防活動及び交流支援活動に対して報償費を支給することで、活動の開始や継続を推奨する取り組みを実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度: 総合事業開始→介護予防「訪問介護」と介護予防「通所介護」が地域支援事業に移行された。</li> <li>・H30年度: 第7期介護保険事業計画開始→給付費の伸びを見込み、介護保険料基準額を「6,040円」とした。前期「5,610円」</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護の増加に伴い、在宅医療や訪問看護の需要が増加。</li> <li>・総合事業の開始に伴い、住民型介護サービスの需要が増加。</li> <li>・介護サービス基盤を維持するため、福祉人材の需要が増加。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>議会より、介護人材不足の対応策について検討が必要であるとの意見がある。</p>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<p>●課題 「地域包括ケアシステム」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の改正に伴い、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が必要であることから、「第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」で下記の視点を持って取り組むことを記載した。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高齢期の健康づくり</li> <li>②高齢者の活躍と社会参加の推進</li> <li>③暮らしの安心と不便の解消</li> <li>④介護サービス基盤を維持するための福祉人材確保</li> <li>⑤医療、介護等の公的サービスを補完する地域住民等の助け合い</li> </ol>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	地域包括ケアシステムなど取組は進められており、策定時と比較して施策は前進した。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	地域包括ケアシステムは5. 施策の課題認識に記載の5つの視点に基づき、効果的に機能できるよう推進してほしい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	新規の団体も出来ており、町内会の枠を超えた活動などが地域に広がり、支え合いの体制に繋がっている。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	各種団体等で実施している活動で、他の町内会や団体でも参考となる活動があれば、周知し、広げていってもらいたい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>				